

岡山醫學會彙報

原著紹介

(雜誌順序不同)

岡山醫學會通常會

本月二十三日午後三時より岡山醫學專門學校附屬醫院内臨牀講義室に於て開會す舟岡會長開會を宣し直ちに左の演説に移る

第一席 穿孔性十二指腸潰瘍ノ晚期手術ニヨル治驗

近藤 寅夫君

演者は最近生來全く健康なる三十七歳の農夫に於て突然十二指腸潰瘍の穿孔を來せるものに穿孔後三十二時間にして手術を施し幸に治癒せし一例に遭遇せり即ち晩期(十八時間以後)に於ても絶望的のものならず例外ならんも救ひ得ることなきにあらざるべしと説く

本演題は追て本誌原著欄に掲載す (自抄)

第二席 頑固ナル子宮子血治驗數例

醫學博士 原 正平君

(抄録未著)

右終りて午後四時閉會す

岡山醫學會彙報

●治療新報(第三二二號)

肺臟外科ノ進歩ニ就テ、附臨牀實驗例(三) (佐藤清一郎)
耳鼻咽喉科領域ニ於ケル「インフルエンザ」性疾患(二) (平川武三郎)

●治療新報(第三二三號)

肺臟外科ノ進歩ニ就テ、附臨牀實驗例(四) (佐藤清一郎)
耳鼻咽喉科領域ニ於ケル「インフルエンザ」性疾患(三) (平川武三郎)

●京都醫學雜誌(第一八卷第四號)

本邦ニ於ケル惡性腫瘍ノ統計的研究(後編) (鈴木信義)
「フアラリア、インミチス」(Filaria immitis)ニ因ル、犬腎臟ノ病理學的變化ニ就テ (本田郁也)
家兎ノ靜脈内ニ注入セラレタル鷄血球ノ運命及之レガ家兎ニ及ボス影響ニ就キテ (平井文雄)
滑平筋臟器ニ於ケル「エフェドリン」作用ノ一ニノ實驗竝ニ青蛙食道ニ於ケル「エフェドリン」、「アトロピン」及「パバヴェリン」ノ伍用ニ就テ (杜聰明)
老性變化ノ形態學的研究 第三 (中院孝圓)
「ヒロカルピン」、「ヒヨリン」、「ヒクロトキシ」竝ニ「アトロピン」ノ血糖量ニ及ボス影響ニ就キテ (前坊源一郎)
「ヨタルニン」ノ藥物學的作用ニ及ボス酸化竝ニ還元ノ影響ニ就テ (丹波五郎)